

1 文化理解系列

(1) 構成員

系列長 和田 (吉)

担当 菊地 皆川 小出 近藤 飯田 只野 林

(2) 系列目標

地域の文化や外国文化、高齢者福祉等の学習を通じて多様な文化や家庭を取り巻く社会状況について理解を深め、文化や生活環境、国の違いを超えて人と人とを結びつけることのできる資質・能力を身につけさせる。

(3) 重点目標と具体的方策

ア 文化理解への興味喚起を促す事業内容の充実

(ア) 文化理解を目的とした交流事業への総計 350 人以上の参加

(イ) 各事業の目標達成度 (生徒評価) の平均 4.0 以上 (5 段階評価)

(ウ) 地域の郷土文化に関する学習を年間 2 回以上実施

イ 系列として価値を見いだせる進路実績の達成

(ア) 人文科学系・社会科学系の大学、看護大学等への 7 人以上の合格者を達成

(イ) 系列事業参加生徒を対象として、就職率 100%を達成

(4) 系列選択科目群

ア 2 年次：国語表現、古典 A、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ、英語会話、食文化、異文化理解 A

イ 3 年次：コミュニケーション英語Ⅲ、パブリックスピーキング A、生活教養、生活と福祉、異文化理解 B

(5) 系列主幹プロジェクト研究 (文化理解ゼミ)

ア インターナショナル班…国際交流による町への外国人誘致と幼稚園・小・中学生への英語教育による町民のグローバル意識の向上。

イ 防災班…標茶町民の防災意識向上のためのマップ作製やワークショップの開催。

ウ スポーツ班…地域の健康増進を目指した活動と小中学生へのオリンピック・パラリンピック教育の実施。

エ 音楽療法班…音楽療法を通じた子どもの運動能力向上の取り組み。

オ 観光班…標茶町の観光プランやマップ作製と町外への発信。

(6) 行事計画

月	行事名：P※1	主担当	キャリアの 4 能力※2				対応系列科目	対応 CG 科目	評価の観点
			人間	自己	課題	キャ			
4	宿泊研修 (アイヌ文化)	皆川、菊地		○			異文化理解 A	産業社会	文化の理解ができたか
	復興支援ボランティア：イ	小出、菊地		○			生活と福祉	自己探究	事故の立場や役割を理解することができたか
5	外国クルーズ船ボランティア①：ア、オ	和田、皆川	○				英語表現Ⅰ 英語会話	自己探究	英語を使って交流できたか
	春季交流学習会：ウ・エ	飯田、只野	○				生活と福祉	産業社会	交流できたか
	英語プレゼンテーションコンテスト：ア	皆川			○		C 英語Ⅲ	課題研究	計画実行できたか
7	外国クルーズ船ボランティア②：ア、オ	和田、林	○				英語表現Ⅰ 英語会話	自己探究	英語を使って交流できたか
9	秋季交流学習会：ウ・エ	飯田、只野	○				生活と福祉	産業社会	交流できたか
	外国クルーズ船ボランティア③：ア、オ	近藤、皆川	○				英語表現Ⅰ 英語会話	自己探究	英語を使って交流できたか
10	英語スピーチコンテスト	只野			○		C 英語Ⅱ	自己探究	計画実行できたか
11	見学旅行	近藤、只野		○			食文化 C 英語Ⅱ	自己探究	文化の理解ができたか
1	高校生国際協力セミナー：ア	近藤			○		世界史 A	課題研究	世界の現状を知れたか
他	福祉ボランティア	林、飯田				○	生活と福祉	自己探究	連携することができたか

※1 P：系列プロジェクト研究 ア～エに対応

※2 人間：人間関係・社会形成能力、自己：自己理解・自己管理能力、課題：課題対応能力、キャ：キャリアプランニング能力

4 能力、対応系列科目、対応 CG 科目は最も結びつきの強いもののみ示す。